

# 草の根

札幌北区社保協ニュース (仮名称)

発行 北区社保協事務局  
連絡先 762-9085 勤医協  
発行責任者 戸田輝夫

NO1

2007年1月14日発行

## 北区民の地域要求を実現しよう!



小田一郎さん

### 来賓あいさつ

来賓には、小泉一安倍と続く社  
北海道社保 会保障切捨て路線が  
協の甲斐基 国民に耐えがたい困  
夫事務局長 難をもたらししている  
と日本共産 とし、社保協が地域  
党北区道政 住民要求実現の役割、  
対策委員長 弱者を守るアンテナ  
の小田一郎 を地域に広げてほし  
さんがあこ いと激励しました。  
ないました。 甲斐氏は、構造改革  
小田氏は、 路線・憲法改悪の行  
くつく先には戦争が  
あるとし、道社保協  
と共に奮闘しようと  
呼びかけました。



坂本恭子さん

続いて、北区社保協  
の役員体制について  
提案があり、代表幹  
事に、戸田輝夫さん  
を満場一致で選出し  
ました。最後に総会  
アピール(裏面)を  
確認して総会を終了  
しました。

## 総会に80人の参加



佐橋克彦先生

1月13日、区内で開  
催された札幌北区社会保  
障推進協議会(略称:北  
区社保協)には、13の呼  
びかけ団体や個人などが

ら80名が参加して開催されました。  
北区社保協総会の開催が三年ぶりの開  
催とあって、「学びながらたまたかおう」  
と、記念講演で始まりました。北星学  
園大学福祉学部助教授の佐橋克彦先生  
から、「新自由主義と社会保障の現在  
(いま)」と題して80分の講演がおこ  
なわれました。  
記念講演では90年代中盤以降の橋本一  
小泉「構造改革」を裏打ちした新自由  
主義の考え方を理論的のみならず社会  
の実態に即して概観しまし

た。わが国社会保障の動向を政治的・  
経済的・社会的側面から整理し、国民  
生活に直結する社会保障分野(医療・  
年金・介護・社会福祉)における構造  
改革の特徴のねらいとしているかにつ  
いて詳しくお話しになりました。また、  
特に介護保険制度の導入を嚆矢とする  
社会保障構造改革、また社会福祉法の  
制定、支援費制度を導入した社会福祉  
基礎構造改革の特徴には、選択II自己  
決定・自己責任原理の導入、応能負担  
から応益負担への変化等がみられます。

# 再建 北区社会保障推進協議会総会を開催

## 代表幹事に戸田輝夫さん選出

これらを与えた影響は何か、  
何が問題視されなければなら  
ないかなど今後の活動を示唆  
する内容でした。  
総会では、年金者組合の小  
林さんが、再建総会までの経  
過を報告、勤医協北区病院の  
高橋さんが運動方針案・規約  
改定案・予算案を提案しまし  
た。各分野からの情勢報告で  
は、生活と健康を守る会の稲  
見事務局長が生活保護をとり  
まく状況と人権と生存権を脅  
かす状況について、友の会副  
会長の坂本恭子さんが、高齢  
者と弱者をとりまく状況につ  
いて報告、北区病院の釣本さ  
んが、医療介護改悪後の患者  
さんの状況や医療経  
営について報告しま  
した。  
続いて、北区社保協  
の役員体制について  
提案があり、代表幹  
事に、戸田輝夫さん  
を満場一致で選出し  
ました。最後に総会  
アピール(裏面)を  
確認して総会を終了  
しました。

# 札幌北區社保協再建総会アピール

## 北区民の皆さんへの訴え

世界の億万長者の6人に1人、1000万ドル以上の純資産を持つ者134万人。

一方、フリーター1430万人、ニート64万人、生活保護13年連続増加の104万世帯147万人、9年連続自殺者3万人、完全失業者294万人（05年政府統計）どこの国かと思いきや我日本、「格差社会」の広がりがこの国を覆っています。

憲法25条に謳われた社会保障の国の責任が反故にされ、「自己責任」や「助け合い」などに転嫁することによって、保険証を奪われる方、生活保護を拒否され餓死する方、ホームレス、自殺など、国民の犠牲の上に立った格差社会の一層の広がりに現れているのです。

国民が最も必要と言われる財政赤字をいかにしながら、利権と巨大開発・軍事費優先・大企業優遇の突き進む先は、600億円の赤字で新年度に再建団体となる夕張市と重なって見えます。

1月25日から会期150日予定の通常国会が開幕します。3月22日には知事選告示、3月25日は、札幌市長選告示、3月30日、道議・札幌市議選告示、4月8日、投票日。7月には参議院選挙の政治決戦が目前となっています。

安倍首相は、年頭会見で、「憲法改正をめざしたい」ということは、当然参議院選挙でも訴えていきたい」と述べ、憲法9条・25条の改悪を明言した、自民党憲法改定草案に執

念を燃やしています。

相次ぐ医療・介護の改悪や診療報酬の改定によって、本当に医療や介護にかかりにくくなってきました。医療機関の事業経営もどんどん厳しくなり地域に一つしかない療養病床の病院が廃院になった、産婦人科・小児科がなくなつたなど、「何とかしなければ」という気持ちに日に強くなります。

こんな時だからこそ、市民のみなさんに「一人ひとりができることをやろう」と訴えたいと思います。地域には、病院にかかれぬ人、保険証のない人、生活保護を利用できない人、生活保護を断られた人、独り暮らしで困っている人たちがあふれてきます。社保協に結集した全ての団体と個人の力を結集し、この「困っていること」を一つひとつ見つけ出し、解決するために自分に何ができるかを真剣に考えることではないでしょうか。そのためには、みんなが地域に出て、多くの人たちと出会い、つながりをつくる必要があります。

全ての札幌北区民のみなさん  
いまこそ、憲法守れ、社会保障を充実させよの声を大きく広げていきましよう。北区社保協は、その先頭に立って奮闘します。

2007年1月13日

札幌北區社保協再建総会

